

堺市立男女共同参画センター 指定管理者募集要項（案）

令和 年 月

堺市

I	はじめに	1
II	施設の設置目的	1
III	事業内容に関する事項	1
1	施設の名称、場所	1
2	指定管理者が行う業務の概要	1
3	管理の基本的事項	2
4	指定期間（予定）	2
5	自主事業	2
6	管理経費等	3
7	利用料金等	4
8	管理の基準	5
9	基本事業計画書及び年度事業計画書	7
10	リスク（責任）分担について	8
11	管理運営に伴う租税について	8
12	保険加入	8
13	行政財産の目的外使用許可	8
14	業務の第三者への委託	8
15	市の指示等	9
16	定期会議の開催	9
17	モニタリング等	9
18	管理業務の報告	10
19	管理業務の継続が困難になった場合の措置	11
20	引継ぎ等	11
21	管理業務に関する評価	11
IV	募集手続きに関する事項	11
1	公募及び選定のスケジュール	11
2	応募資格等	12
3	欠格事項	13

4	選定対象除外	1 3
5	応募手順	1 4
V	提出書類に関する事項	1 5
1	書類の作成	1 5
2	書類の提出	1 5
VI	選定及び指定に関する事項	1 7
1	選定審査方法	1 7
2	選定結果の通知等	1 7
3	指定管理者の指定等	1 8
4	協定に関する事項	1 8
VII	その他	1 8
1	注意事項	1 8
2	添付資料	1 8

I はじめに

地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項及び堺市立男女共同参画センター条例（平成30年条例第6号。以下「センター条例」という。）第16条の規定に基づき、堺市立男女共同参画センター（以下「センター」という。）の管理に関する業務を行う指定管理者を募集します。

II 施設の設置目的

センターは、男女共同参画の推進に関する施策を実施し、市民等による男女共同参画の推進に関する取組を支援することを目的として設置されている施設です。

本市では、昭和55年に女性の地位向上や社会進出を目的に、女性教育の拠点施設として婦人会館を開館しました。以降、常に国や国際社会の動向を踏まえながらその役割を更新し、平成6年に女性センター、平成30年に男女共同参画センターへと名称を変更してきました。

本市の男女共同参画施策は、「堺市男女平等社会の形成の推進に関する条例」の理念に基づき、女性の活躍を加速させ、根強く残る固定的性別役割分担意識の解消等の課題を改善し、あらゆる施策にジェンダーの視点を持つことを推進しています。

以上の点を踏まえ、指定管理者には業務の遂行にあたり、豊富な能力や実績を活かして、施設利用者に対し質の高いサービスを提供していただくことを求めます。

III 事業内容に関する事項

1 施設の名称、場所

- (1) 施設の名称 堺市立男女共同参画センター（愛称 コクリコさかい※）
- (2) 設置年月日 昭和55年9月1日
- (3) 設置場所 堺市堺区宿院町東4丁1番27号
- (4) 施設規模 敷地面積 1,326㎡
建築面積 819㎡
延床面積 2,029㎡

※コクリコは雛罌粟（ひなげし）のフランス語で、堺を代表する情熱の歌人 与謝野晶子の短歌にある「ああ皐月（さつき）仏蘭西（フランス）の野は火の色す君も雛罌粟（コクリコ）われも雛罌粟（コクリコ）」から引用したもので、『「こ」こから「く」りひろげられる「り」そうの社会への「こ」うどうを』との思いを込めて命名

2 指定管理者が行う業務の概要

指定管理者が行う主な業務（以下「管理業務」という。）は下記のとおりとし、業務の詳細は別紙1「業務仕様書」のとおりとします。

- (1) 施設の管理運営に関する業務
- (2) 施設等の維持管理に関する業務
- (3) 男女共同参画の推進に関する業務
- (4) 相談事業に関する業務
- (5) 男女共同参画の視点からの防災対策や災害対応の推進に関する業務

(6) その他の業務

3 管理の基本的事項

指定管理者は、次の事項を基本として、センターの管理を行うこととします。

- (1) センター条例第1条の設置目的に基づき管理を行うこと。
- (2) 個人情報の保護を徹底するとともに情報公開を積極的に推進すること。
- (3) 公の施設であることを念頭において、公正、公平な管理を行うこととし、特定のものに有利あるいは不利になる運営をしないこと。
- (4) 管理業務に際し、政治的行為又は宗教的行為と疑われるような活動や営利を目的とする活動はしないこと。
- (5) 利用者の意思及び人権を尊重し、常にその立場に立ってサービスを提供すること。
- (6) 法令等を遵守して適正に管理業務を行うこと。
- (7) 効果的かつ効率的に管理業務を行い、経費の縮減に努めること。
- (8) 地域住民や利用者の意見・要望を管理業務に反映させ、サービスの向上を図ること。
- (9) 利用者が安全かつ快適に利用できるよう施設・設備を適正に維持管理すること。
- (10) 地域住民、自治組織、事業者等と良好な関係を維持すること。
- (11) 堺市男女平等社会の形成の推進に関する条例、さかい男女共同参画プランの内容や取組を理解した上で、業務を行うこと。その他男女共同参画推進施策のみならず、本市施策の意義・趣旨を理解し、それらに沿った運営を行うこと。堺市男女平等社会の形成の推進に関する条例、さかい男女共同参画プランについては、市のホームページを参照してください。
- (12) 国の男女共同参画基本計画、「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」を踏まえ、センターの求められている役割を理解した上で、運営を行うこと。
- (13) 男女共同参画を取り巻く社会環境の変化に、速やかに、かつ柔軟に対応し、業務に反映させることで、時代に対応した事業展開を行うこと。また、男女共同参画・女性活躍を推進する拠点として、本施設の機能強化を図ること。
- (14) ICTを積極的に活用し、市民サービスの向上、運営の効率化を図ること。特に若い世代をはじめ、幅広い世代のニーズに対応し、新たな利用者層の獲得や施設の活性化のための創意工夫を行うこと。ICTの活用にあたっては、情報セキュリティ対策を徹底すること。

4 指定期間（予定）

指定期間は、令和5年4月1日から令和10年3月31日までの5年間を予定しています。この期間は、市議会の議決を経て決まりますので、留意願います。

5 自主事業

指定管理者は、センター条例及び協定書、仕様書、事業計画書に定める業務（指定管理業務）に支障をきたすことがなく、かつ施設の設置目的の範囲内で、施設の利用促進又はサービスの向上のために、独自に企画提案し、自己の責任と費用により自主事業を実施することができます。なお、実施にあたっては、事前に自主事業計画書及び収支予算書を提出のうえ、市の承認を得る必要があります。

指定管理者の自主事業として、自動販売機の設置を行うことが可能です。実施にあたっては別途行政財産貸付の手続きを行います。設置の有無、提案貸付料を含め指定管理者事業計画書（企画提案書）により提案してください。

詳細は別紙1「業務仕様書」のとおりとします。

6 管理経費等

(1) 会計年度

センターの管理に係る会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとします。

(2) 指定管理料の支払い等

センターの管理に必要な経費は指定管理料として会計年度ごとに、収支計画書に提示のあった金額をもとに指定期間中毎年度市と指定管理者が協議して協定で定め、予算の範囲内で支払います。

各年度の指定管理料決定のための協議の際に、選定時の指定管理者事業計画書（企画提案書）等で提案された指定管理料の金額から変更する場合には、管理運営や事業内容について、市と指定管理者の間で協議することとします。

なお、センターの管理に係る指定管理料の本市としての積算額は、89,466千円（税込）です。収支計画書は、当該積算額を上限として作成してください。また、指定管理料の算出にあたっては、消費税率を「10%」としてください。指定期間中に消費税率が引上げられた場合については、市と指定管理者の間で協議し、指定管理料を増額するなどの適切な措置を講じます。

(3) 指定管理料支払い時期等

指定管理料の支払い時期、支払い方法は、会計年度ごとに4回に分割して、四半期当初に指定管理者からの請求により支払うこととします。ただし、詳細については協定で定めま

(4) 指定管理料に含まれる経費

指定管理料には次のとおり原則として管理業務に必要な一切の経費が含まれます。

ア 人件費

イ 管理費（保守管理費、消耗品費、修繕費、光熱水費等）

※ 施設の保守管理、安全点検、衛生管理、軽易な修繕に必要な経費は指定管理料に含まれるものとして、指定管理者の責任と費用負担において実施するものとします。ただし、施設・設備・器具・備品の修繕については、次のとおり取り扱うものとします。なお、以下①～③の予定価格はすべて税込です。

① 1件当たりの予定価格が100万円を超えるものは、市と指定管理者が協議を行い、市が必要と認めるものについては、市の経費負担において修繕を行うものとする。

② 1件当たりの予定価格が30万円を超えて100万円以下のものは、市と指定管理者が協議を行い、市が必要と認めるものについては、指定管理者の経費負担において修繕を行うものとする。

③ 1件当たりの予定価格が30万円以下のものは、指定管理者の責任と経費負担において修繕を行うものとする。

指定管理者の管理上の瑕疵による施設の損傷を修繕するときは、予定価格にかかわらず指定管理者の責任と費用負担で実施することとします。

ウ 事業費（講座や相談事業等の事業費に係る費用）

(5) 指定管理者の収入

指定管理業務の対価として、指定管理料のほか、センターの利用料金や男女共同参画を推進する知識・技能講座（男女共同参画の推進に関する業務のうち受講料を徴収する講座）の受講料が、指定管理者の収入となります。

<参考>平成30年度から令和3年度までの使用料・講座受講料収入（単位：円、税込）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
使用料	(※1) ￥126,350	￥145,750	(※2) ￥67,250	(※3) ￥125,600

講座受講料	¥7,313,500	¥7,065,000	(※2) ¥5,536,000	(※3) ¥5,897,500
-------	------------	------------	-----------------	-----------------

- (※1) 平成30年度に実施した空気調和設備改修工事により、平成31年3月の1か月間貸館（センター利用）を中止。
- (※2) 令和2年4月上旬から5月下旬の期間（44日間）、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため閉館。
- (※3) 令和3年4月上旬から6月中旬の期間（72日間）、施設内部改修工事、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため閉館。
- (6) 自主事業の実施に係る経費
 自主事業の実施に係る経費は、指定管理料から支出できません。当該自主事業から得られる収入により賄うこととします。
 また、同一の従業員が指定管理業務と自主事業に従事する場合は、その業務負担割合に応じ人件費を振り分けて計上してください。
 なお、自動販売機等を設置する場合は、別途貸付契約を締結し、貸付料が必要です。
- (7) 経理事務
 ア 指定管理者は経理に関する規程を策定し、適正に経理事務を行うこととします。
 また、経理事務に当たっては、管理業務に係る独立の帳簿を設けることとします。
 イ 自主事業に係る経費は他の経費と明確に区分して経理事務を行うこととします。

7 利用料金等

(1) 利用料金制の採用

センターはセンター条例第22条の規定により利用料金制度を採用しますので、指定管理者は、利用者が施設の使用に係る料金として支払う利用料金を指定管理者自らの収入とすることができます。利用料金の額はセンター条例で規定する額を上限として指定管理者が市長の承認を得て定めることとなります。

なお、センター条例第22条及び別表備考第1項において、指定管理者は、市外居住者が使用するとき、基本料金にその5割に相当する額を加算することが規定されています。

また、センター条例第22条及び別表備考第2項において、指定管理者は、使用者が入場料その他これに類するものを徴収するときは、基本料金の5割を上限として基本料金に加算することが規定されています。

なお、利用料金収入は施設の利用に供する年度の会計に属するものとします。

(2) 利用料金の減免

指定管理者は、センター条例第22条第5項の規定により市長が定める基準に従い、利用料金を減額し、又は免除することができます。利用料金の減免に関する基準は、堺市立男女共同参画センター条例施行規則第13条、及び堺市立男女共同参画センター使用料減免基準（市のホームページを参照してください。）と同内容のものを定めることを予定しています。この基準については、指定管理者からの提案があれば、協議の上、可能な範囲で変更することとします。

なお、減免による利用料金収入の減収分については、市は別途補てん等を行いません。

(3) 利用料金の還付

指定管理者は、センター条例第22条第6項の規定により市長が定める基準に従い、利用料金の全部又は一部を還付することができます。利用料金の還付に関する基準は、堺市立男女共同参画センター条例施行規則第14条と同内容のものを定めることを予定しています。この基準については、指定管理者からの提案があれば、協議の上、可能な範囲で変更することとします。

(4) 自主事業の参加費等

- ・指定管理者は、自主事業の参加者から参加費等を徴収することができます。参加費等の額は

市場価格を参考に、利用者にとって大きな負担にならないように配慮してください。

・指定管理者自らが興行主として施設を利用して自主事業を実施する際も、当該利用に係る利用料金を自ら指定管理者に支払う（利用料金収入として計上する）こととなります。

8 管理の基準

（１）関係法令の遵守

センターの管理業務を行うに当たっては、次の法令等を遵守するものとします。

- ア 地方自治法及び地方自治法施行令（昭和２２年政令第１６号）
- イ 堺市立男女共同参画センター条例（平成３０年条例第６号）
- ウ 労働基準法（昭和２２年法律第４９号）その他の労働関係法令
- エ 堺市財産規則（昭和３９年規則第６号）、堺市会計規則（平成１９年規則第４３号）及び堺市財務規則（平成１９年規則第５６号）
- オ 堺市個人情報保護条例（平成１４年条例第３８号）及び堺市個人情報保護条例施行規則（平成１５年規則第２４号）
- カ 堺市情報公開条例（平成１４年条例第３７号）及び堺市情報公開条例施行規則（平成１５年規則第２２号）
- キ 堺市行政手続条例（平成８年条例第１７号）及び堺市行政手続条例施行規則（平成９年規則第２５号）
- ク 消防法（昭和２３年法律第１８６号）及び堺市火災予防条例（平成２０年条例第２５号）
- ケ その他関連法規、要綱、要領、通知等

（２）開館時間及び休館日

開館時間及び休館日は、センター条例第２３条の規定により、指定管理者が市長の承認を得て定めることとなっていますので、指定管理者事業計画書（企画提案書）において提案してください。指定管理者の指定後に市長の承認を得て定めていただきます。

なお、現在の開館時間及び休館日は、次のとおりとなっています。

現在の開館時間・休館日	
ア 開館時間	○午前９時から午後５時３０分まで
イ 休館日	○月曜日 ※施設の維持管理による設備点検や定期清掃、修繕等のため週１回の休館日を設けている。 ○国民の祝日に関する法律に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日） ○１２月２９日から翌年の１月３日までの日

（３）使用許可等

市民の施設利用にあたっては、地方自治法第２４４条第２項及び第３項の規定を遵守しなければなりません。また、施設の使用許可及び使用許可の取消しは、センター条例第３条及び第５条の規定を遵守して適正に行わなければなりません。

なお、指定管理者は、堺市行政手続条例の適用を受ける「行政庁」に含まれることから、使用の許可等は同条例の定めに従って行わなければなりません。

（４）守秘義務

指定管理者は、センター条例第２３条第１項第４号の規定を遵守しなければなりません。

（５）個人情報の保護

指定管理者は、堺市個人情報保護条例第１１条及び第４９条の２（注：本市の出資法人の場合

合は、第49条)並びに「個人情報取扱特記事項」(資料1)の規定を遵守し、個人情報の保護に努めなければなりません。

また、指定管理者には、同条例の趣旨に則り、個人情報の保護に関して規程を定めて、市に準じた取扱いを行っていただきます。市の関係要綱及び指定管理者が定める規程のモデル規程は資料2及び資料3のとおりです。

なお、指定管理者(指定管理者から再委託を受けた事業者を含む。)の従業員(従業員であった者を含む。)による管理業務上知り得た個人情報に関する不正行為に対しては、同条例第56条又は第57条の規定により罰則の適用があります。この場合において、同条例第61条第1項の規定により、指定管理者(指定管理者から再委託を受けた事業者を含む。)である法人等に対しても罰則の適用があります。

(6) 情報公開

指定管理者は、堺市情報公開条例第36条の2(注:本市の出資法人の場合は、第36条)の規定を遵守し、管理に関して保有する情報の公開に努めなければなりません。

指定管理者には、同条例の趣旨に則り、情報公開に関して規程を定めて、市に準じた取扱いを行っていただきます。市の関係要綱及び指定管理者が定める規程のモデル規程は資料4及び資料5のとおりです。

※ (5)、(6)の規程については、市政情報センターにおいて一般の閲覧に供します。

(7) 文書管理

指定管理者には、センターの管理業務上作成し、又は取得した文書について、目録を作成して適正に管理していただくとともに、市が指示する期間当該文書を保管し、廃棄は市の指示に従って行っていただきます。

また、指定期間が満了した時や指定が取り消された時は、当該文書を市に引き渡していただきます。ただし、個人情報保護等の観点から問題がなければ、市の立会のもとで直接次期指定管理者に引き継いでいただく場合もあります。

(8) 障害を理由とする差別の解消の推進に関する堺市職員対応要領を踏まえた対応

指定管理者は、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。)に基づく不当な差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供に関しては、障害者差別解消法第11条の規定により主務大臣が定める指針を遵守するとともに、障害を理由とする差別の解消の推進に関する堺市職員対応要領(平成28年3月策定)を踏まえ、適切に対応することとします。

(9) 市の施策との整合・協力

ア 障害者等就職困難者の雇用

法人もしくは団体として障害者雇用の促進に関する法律に定めた障害者雇用率の達成に努めるとともに、国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律を踏まえた物品等の調達、高齢者や障害者等の就職困難者の雇用や訓練を積極的に受入れるなど、就職困難者に配慮した取組に努めることとします。

イ 市内経済の活性化

指定管理者は、市内業者の育成及び市内経済活性化を図るため、可能な限り市内業者の活用や地元住民の雇用等に努めることとします。

ウ 地域振興、地域コミュニティの醸成

指定管理者は、地域団体、地域住民、NPOとの協働による取組等の地域振興や地域コミュニティの醸成に努めることとします。

エ 環境問題への取組

「堺環境戦略」(令和3年3月策定。市ホームページを参照)に掲げる「全ての人が幸せに暮らす、持続可能な環境イノベーション都市」の実現や、SDGsの達成に寄与するため、指定管理者は、次に掲げる環境に配慮した取組の推進に努めることとします。

・2050年カーボンニュートラルの実現を見据えた、省エネルギー等による温室効果ガ

ス排出量とエネルギーコストの削減

- ・ Refuse（断る）、Reduce（減量する）、Reuse（繰り返し使う）、Recycle（再資源化する）の4Rの推進や、海洋プラスチック対策、ペーパーレス化の推進
- ・ 環境に配慮した商品等の購入（グリーン購入）の推進
- ・ 廃棄物の適正処理

オ 暴力団排除

堺市暴力団排除条例の施行（平成24年10月1日）に伴い、公の施設の管理運営から暴力団の利益となる使用を排除することとしており、指定管理者は同条例の趣旨に則り、適正な施設の管理運営に努めることとします。

カ 市政への協力

上記のほか、公の施設の指定管理者として、男女共同参画の取組、節電、災害対策、禁煙など市の施策と整合した取組が求められますので、これらの取組に積極的に協力してください。

9 基本事業計画書及び年度事業計画書

指定管理者は、応募等に際し提出した指定管理者事業計画書（企画提案書）をもとに、市と協議調整を行い、管理業務に関して、次の事項を内容として、基本事業計画書及び年度事業計画書を作成し、市に提出して承認を受けることとします。

- （1）管理運営方針（人権尊重の考え方・男女共同参画推進の考え方・障害者等への考え方・障害者等就職困難者の雇用・市内経済の活性化・地域振興、地域コミュニティの醸成・環境問題への取組を含む。）
- （2）従業員の配置計画（施設に応じて障害者・高齢者等の採用計画を含む。また、法令等により免許・資格を要するものはその名称を含む。）
- （3）収支計画
- （4）利用促進計画、サービス向上の方策
- （5）第三者への業務の委託計画
- （6）自主事業計画
- （7）モニタリング計画（利用者意見の聴取等）と管理業務への反映
- （8）人材育成の考え方及び研修計画
- （9）苦情、要望への対応
- （10）個人情報保護方針及び保護措置
- （11）情報公開方針及び広報計画
- （12）管理施設、設備、器具備品等の維持管理方針
- （13）目標設定と目標達成の方策
- （14）緊急時対策
- （15）男女共同参画の推進に関する業務・相談事業・男女共同参画の視点からの防災対策や災害対応の推進に関する業務の実施計画（指定管理者事業計画書（企画提案書）に記載された内容のうち、男女共同参画の推進に関する業務と相談事業、男女共同参画の視点からの防災対策や災害対応の推進に関する業務の実施計画に関する事項について記載）

※ 基本事業計画書（指定期間中の共通計画）

指定管理者事業計画書（企画提案書）に記載された内容のうち、全指定期間を通じて規定または決定しておくべき基本的な事項について記載

※ 年度事業計画書（年度ごとの事業計画）

指定管理者事業計画書（企画提案書）に記載された内容のうち、年度単位で規定または決定すべき事項について記載（基本事業計画書に記載された内容以外のすべての事項を記載）

10 リスク（責任）分担について

リスク分担の基本的な考え方は別紙2のとおりです。

なお、詳細は、指定管理者の指定後に市と指定管理者で協議を行います。

11 管理運営に伴う租税について

指定管理者（共同企業体（企業グループ）を含む。）には、原則、法人税、法人市民税及び法人府民税が課税されます。

また、事業所税などが課税される場合もあるため、具体的な取扱いについては、それぞれの課税業務を所管する税務官公署に確認する必要があります。

なお、管理運営に伴う租税の負担が生じた場合には、指定管理者が負担することになります。

12 保険加入

指定管理者は、管理業務におけるリスク（責任）分担に備えて、市と指定管理者を被保険者とする次の賠償責任保険に加入してください。

また、託児に伴う賠償保険にも加入してください。

なお、保険内容等は下記のとおりとします。

ア てん補限度額

（施設賠償責任保険）

- ・対人賠償 被害者1名当たりのてん補限度額 1億円以上
1事故全体のてん補限度額 5億円以上
- ・対物補償 1事故全体のてん補限度額 1千万円以上

（昇降機賠償責任保険）

- ・対人賠償 被害者1名当たりのてん補限度額 1億円以上
1事故全体のてん補限度額 5億円以上
- ・対物補償 1事故全体のてん補限度額 1千万円以上

（託児に伴う賠償責任保険）※サテライト講座実施時の託児も対象とする。

- ・対人賠償 被害者1名当たりのてん補限度額 3千万円以上
1事故全体のてん補限度額 3億円以上
- ・対物補償 1事故全体のてん補限度額 1千万円以上

イ 被保険者名 堺市及び指定管理者

ウ 保険期間 指定期間と同じ期間とする。（年度ごとの加入でも可とする。）

13 行政財産の目的外使用許可

センターの目的外使用許可は指定管理者の業務の範囲外であるため、市が堺市行政財産の目的外使用許可に関する条例に基づき許可を行い、その使用料は市の収入となります。

現在、目的外使用を許可しているセンター1階「連絡室」については、令和5年4月から指定管理者による管理の対象とします。

14 業務の第三者への委託

指定管理者は、管理業務の全部又は一部を第三者に委託することはできません。ただし、別紙3に記載している業務の全部又は一部については、あらかじめ市に書面で届け出て、承認を得

た場合は、第三者に委託することができます。この場合、指定管理者の責任において当該業務の履行や委託先の法令遵守等を確保することとし、市が承認する場合を除き、当該委託先からさらに再委託させることはできません。

なお、別紙３の業務以外でも市との協議により委託可能であると認められた業務については委託することができます。

また、堺市入札参加資格者の入札参加停止等に関する要綱に基づく入札参加停止の措置を受けた者及び堺市契約関係暴力団排除措置要綱に基づく入札参加除外措置を受けた者並びに暴力団員又は暴力団密接関係者と認められる者に委託することはできません。なお、第三者に業務を委託した場合は、当該委託先が国若しくは地方公共団体又は本市の外郭団体である場合を除き、暴力団員又は暴力団密接関係者でない旨の誓約書の写しを市に提出してください。

15 市の指示等

- (1) 市は施設管理の適正を期するため、指定管理者に対して、管理業務又は経理の状況に関し報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができます（地方自治法第244条の2第10項）。
- (2) 指定管理者が(1)に定める指示に従わないとき、その他指定管理者による管理を継続することが適当でないと認められるときは、市は指定管理者の指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部又は一部の停止を命ずることができます（地方自治法第244条の2第11項）。

16 定期会議の開催

市と指定管理者は、本業務を円滑に実施するため、情報交換、業務の調整等を図る定期会議を四半期ごとに1回開催します。その他、必要に応じて会議を開催します。

17 モニタリング等

- (1) 指定管理者には、管理運営に関する利用者の意見や要望を把握し、管理業務に反映させるため、市として求める目標や水準の達成状況及び市と協議して設定した調査項目について、利用者を対象とした意見箱の設置やアンケート等による意見聴取を行っていただき、その結果（自己評価を含む。）を集計して市に報告書を提出していただきます。具体的な項目については、市と指定管理者が協議の上で決定します。

（調査項目の例）

- ア 施設の充実度
- イ 施設の利用のしやすさ
- ウ 職員の対応（言葉づかい、態度）
- エ 利用率、利用料、利用時間
- オ イベント、講座の充実度

- (2) 市は、指定管理者から提出される報告書等により、適切に管理業務がなされているか、また、設定された目標や調査項目が達成されているかなどについて確認を行い、その結果指定管理者に必要な指示を行います。さらに、指定期間中において、必要に応じて随時に管理業務の実績の確認及び評価をするためのモニタリングを行うことができるものとし、指定管理者はこれに協力していただきます。
- (3) 指定管理者によるモニタリング及び本市によるモニタリングに加えて、第三者（施設関係者以外）によるモニタリングを実施する場合があります。実施する場合の具体的な手法・実施時期等については指定管理者の指定後、別途お知らせします。

18 管理業務の報告

(1) 指定管理者は、会計年度（4月1日から翌年3月31日まで）終了後、2か月以内に管理業務に関して、次の事項を内容とする事業報告書を市に提出するものとします。事業報告書は、堺市情報公開条例において規定する非公開情報に該当する部分を除き、市政情報センターで一般の閲覧に供します。

- ア 収支状況
- イ 利用料金の収入状況
- ウ 管理業務の実施状況
- エ 施設の利用状況
- オ 男女共同参画の推進に関する業務の実施・収支状況
- カ 相談事業の利用状況
- キ 男女共同参画の視点からの防災対策や災害対応の推進に関する業務の実施状況
- ク 自主事業の実施・収支状況
- ケ 利用者意見の聴取状況
- コ 人材育成の取組（人権研修を含む職員の研修の実施状況等）
- サ 事故、苦情及び要望の件数、内容とその対応
- シ 個人情報の保護、情報公開の実施状況
- ス 備品の状況
- セ 指定管理者の目標の達成状況及び自己評価並びに管理業務の総括等
- ソ その他市長が必要と認める事項

(2) 指定管理者は、次の事項を内容とする定期報告書（毎月）を翌月15日以内に市に対し提出するものとします。ただし、収支状況については、四半期ごとに、各四半期終了後15日以内に市に対し提出するものとします。

- ア 管理業務の実施状況
- イ 収支状況（四半期ごと）
- ウ 利用料金の収入状況
- エ 施設の利用状況
- オ 男女共同参画の推進に関する業務の実施・収支状況（収支状況は四半期ごと）
- カ 相談事業の利用状況
- キ 男女共同参画の視点からの防災対策や災害対応の推進に関する業務の実施状況
- ク 自主事業の実施・収支状況（収支状況は四半期ごと）
- ケ 利用者意見の聴取状況
- コ 事故、苦情及び要望等の件数、内容とその対応
- サ 研修実施状況
- シ 自主事業計画書の軽微な変更の有無とその内容
- ス 備品等の設置場所の変更の有無とその内容
- セ その他市長が必要と認める事項

(3) 次のような事項に該当したときは、指定管理者は速やかに市に報告を行うこととします。

- ア 施設において、事故又は災害等の緊急事態が発生したとき
- イ 施設の管理業務に関して指定管理者が争訟を提起されたとき、又は提起されるおそれがあるとき
- ウ 金融機関との取引が停止となったとき
- エ 施設の管理業務に関して有する債権に対して差押え又は、仮差押えがなされたとき
- オ 破産、会社更生、民事再生及び特別清算のいずれかの申立てを行うとき、又は申立てするおそれがあるとき、又は破産の申立てをされるおそれがあるとき
- カ 定款若しくは寄附行為又は登記事項に変更があったとき、その他適正な管理業務に支障を来す事態が生じたとき

19 管理業務の継続が困難になった場合の措置

(1) 指定管理者の責に帰すべき事由により管理業務の継続が困難となった場合

市は指定管理者の指定を取り消す等の措置をとることとします。この場合、市に生じた損害は指定管理者が市に賠償するものとします。

(2) 不可抗力等により管理業務の継続が困難となった場合

自然災害その他の不可抗力等、市及び指定管理者双方の責めに帰すことができない事由の場合、事業継続の可否について協議するものとします。協議の結果やむを得ないと市が判断した場合は、市は指定管理者との協定の解除及び指定の取消しができるものとします。

20 引継ぎ等

(1) 指定管理者の指定後、指定期間開始までの間に、センターの管理業務に関する市との引継ぎ、指定管理者の従業員の研修及び帳票類の印刷等必要な準備を行っていただきます。なお、準備等にかかる経費は指定管理者の負担とします。

また、指定管理者は、指定期間の満了又は指定の取消しによって管理業務が終了したときは、次期指定管理者が適切に施設の管理業務を実施できるように本市もしくは、次期指定管理者に引き継ぐこととします。

(2) 指定管理者が施設設備の原形を変更している場合は、指定管理者の費用負担によりこれを原状に回復して引き継ぐこととします。

(3) 指定管理者が配置した器具等は指定管理者に帰属しますが、指定管理終了後、協議により、指定管理者から市又は次期指定管理者に引き継ぐことができることとします。引継ぎを行わなかった器具等については、指定管理者の責任で撤去してください。

(4) 指定期間満了日後の利用にかかる利用料金を事前に収受する場合は、その利用料金に相当する金額を市又は次期指定管理者に引き継ぐこととします。

21 管理業務に関する評価

指定管理者が実施する管理業務について事業計画書で定めた目標の達成状況などに関して、事業報告書、指定管理者及び市が行うモニタリング結果などをもとに、年度終了後に、指定管理者による一次評価、所管課による二次評価を行い、それらの評価方法や結果等を含め、指定管理者制度の運用等について第三者の立場から外部有識者の意見を聴取します。

これらの評価は、指定管理者に示し、管理業務に反映してもらうほか、結果によっては必要に応じて是正措置をとっていただくとともに、指定管理料の減額などのペナルティを科すこともあります。

また、評価結果は市ホームページにおいて公表を行います。

IV 募集手続きに関する事項

1 公募及び選定のスケジュール

公募及び選定のスケジュールは、以下のとおりです。

募集要項の公表	令和4年7月25日（月）～9月30日（金）
施設の現地説明会参加申し込み	令和4年7月25日（月）～8月17日（水）
施設の現地説明会	令和4年8月24日（水）
質問書の受付	令和4年9月2日（金）～9月9日（金）
質問書の回答	令和4年9月15日（木） 予定
応募書類の受付	令和4年9月22日（木）～9月30日（金）

書類審査	令和4年10月上旬（予定）
面接審査	令和4年10月中旬（予定）
選定結果の通知	令和4年10月下旬（予定）
市議会による指定管理者の議決	令和4年12月（予定）

※ 応募団体が3団体以下の場合は、書類審査及び面接審査を同一日程で行うこともあります。

2 応募資格等

（1）応募団体の資格

応募団体の資格は次の事項をすべて満たすものとします。

- ア 法人その他の団体（以下「法人等」という。）又は複数の法人等が構成するグループ（以下「グループ」という。）であること。（個人による応募はできません。）
- イ 欠格事項（後掲）に該当しているものでないこと。グループ応募の場合は、当該グループを構成しているすべての法人等が欠格事項に該当しているものでないこと。

（2）グループ応募について

- ア グループで応募する場合は、グループ名及びグループを代表する法人等（以下「代表団体」という。）を定めてください。なお、グループ名は市民から誤解を生じないような名称としてください。
- イ グループを構成する法人等（以下「構成団体」という。）は、単独で応募することはできません。
- ウ 複数のグループにおいて、同時に構成団体となることはできません。
- エ 代表団体及び構成団体の変更は、原則として認めません。ただし、構成団体については、業務遂行上支障がないと本市が判断した場合、変更を認めることがあります。その場合は必要に応じ書類の再提出を求めます。
- オ 指定管理者の指定を受けた場合、協定締結時まで、各構成団体間で責任分担を明確に定めた協定書等を締結することとし、その写しの提出を求めます。

- （3）応募書類の提出日において、応募団体が次の項目に該当する場合は、審査において、別紙5の選定基準に定める配点（6点）を上限として項目ごとに2点ずつ付与します。なお、グループ応募の場合は、4及び6の項目を除き、すべての者が満たしていること。

該当要件	
1	次のいずれかに該当する場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の雇用状況報告義務があり、令和4年の報告時に法定雇用率以上の障害者を雇用している場合 ・ 障害者の雇用状況報告義務はないが、障害者（＊）を1人以上雇用している場合 ・ 堺市障害者雇用貢献企業である場合 （＊）障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）第2条に掲げる障害者のうち、1年以上雇用され（又は見込み）、週20時間以上勤務している者
2	次世代育成支援対策推進法（平成15年法律第120号）第13条による認定を受けている場合
3	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成27年法律第64号）第9条に基づく認定を受けている場合
4	青少年の雇用の促進等に関する法律（昭和45年法律第98号）第15条に基づく認定を受けている場合（グループ応募の場合は、1者以上が満たしていること。）

5	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律（昭和46年法律第68号）第9条第1項に掲げる高年齢者雇用確保措置のうち、65歳以上への定年の引上げ（同項第1号）又は定年の定め廃止（同項第3号）を行っている場合（同項第2号の継続雇用制度は対象外）
6	市内に本社・本店を有している場合（グループ応募の場合は、1者以上が満たしていること。）
7	ISO14001の認証、エコアクション21の認証・登録、KESステップ2の登録又はエコステージ（レベル3）の認証のいずれかを受けている場合

3 欠格事項

応募書類の受付最終日現在において、次に該当する団体は、応募を無効とします。また、グループで応募する場合はすべての構成団体が次に該当しないこととし、1団体でも該当した場合は応募を無効とします。

なお、受付最終日の翌日から指定管理者の候補者が選定されるまでの間に次の事項に該当することとなった場合は、失格とします。また、選定後から基本協定の締結までの間に次の事項に該当することとなった場合は、失格とすることや指定を取り消すことがあります。

- (1) 地方自治法施行令第167条の4第2項の規定により本市が一般競争入札に参加させないこととしている団体
- (2) 地方自治法第244条の2第11項の規定により本市から指定管理者の指定を取り消され、その取消しの日から2年を経過していない団体
- (3) 本市における指定管理者の指定の手續において、その公正な手續を妨げた団体又は公正な価格の成立を妨害し、若しくは不正の利益を得るために連合した団体
- (4) 堺市入札参加有資格者の入札参加停止等に関する要綱に基づき、入札参加停止又は入札参加回避の措置を受けている団体
- (5) 堺市契約関係暴力団排除措置要綱に基づき、入札参加除外措置を受けている団体
- (6) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員又は堺市暴力団排除条例第2条第3項に規定する暴力団密接関係者に該当する団体（適用にあたっては、堺市契約関係暴力団排除措置要綱に規定する措置要件を準用する）
- (7) 会社更生法、民事再生法等に基づく更生又は再生手續をしている団体
- (8) 破産者で復権を得ない者
- (9) 法人税、消費税、地方消費税及び市税を滞納している団体（法人以外の団体にあつては、その代表者が所得税、消費税、地方消費税及び市税を滞納している団体）
- (10) 次の各号に該当する者が役員となっている団体
 - ア 破産者で復権を得ない者
 - イ 法律行為を行う能力を有しない者
 - ウ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
 - エ 本市において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
 - オ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

4 選定対象除外

次に該当する場合は、失格として選定の対象から除外します。

- (1) 応募書類に明らかな虚偽の記載があった場合
- (2) 応募に際して不正行為があった場合
- (3) 提出期限までに必要な書類を提出できなかった場合

- (4) 応募資格に反することが認められた場合
- (5) 選定委員、本市職員及び本件関係者に対して、本件応募について自己の有利になる目的のため接触等の働きかけの事実が認められた場合
- (6) 本件に関し、同一の法人等又はグループが2件以上の応募を行った場合

5 応募手順

- (1) 募集要項等の公表

令和4年7月25日(月)から市ホームページにおいて公表を行います。

- (2) 現地説明会

施設の現地説明会を行います。参加は必須ではありませんが応募予定の団体は、できるだけご出席ください。

現地説明会への参加に際しては、令和4年8月17日(水)の午後5時までに「現地説明会参加申込書」(様式14)に必要事項を記入の上、Eメール又はFAXで提出してください。(送信後に必ず送信された旨の電話連絡をお願いします。)

- ア 開催日時及び場所

令和4年8月24日(水) 午前10時から1時間程度(予定)

堺市堺区宿院町東4丁1番27号 堺市立男女共同参画センター

※ 施設専用駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

- イ 参加人数：1団体2名までとします。

- ウ 申込先

堺市 市民人権局 男女共同参画推進部 男女共同参画推進課

電話：072-228-7408 FAX：072-228-8070

Eメール：danjokyo@city.sakai.lg.jp

- (3) 質問書の受付

質問がある場合は、質問書(様式15)を令和4年9月2日(金)から同月9日(金)までの間に、Eメール又はFAXで提出してください(送信後に必ず送信された旨の電話連絡をお願いします。)

電話・来訪など口頭による質問は受け付けいたしません。

質問書に対する回答は、令和4年9月15日(木)を目途に市ホームページにおいて公表を行います。

【質問書提出先】

堺市 市民人権局 男女共同参画推進部 男女共同参画推進課

電話：072-228-7408 FAX：072-228-8070

Eメール：danjokyo@city.sakai.lg.jp

- (4) 応募書類の受付

堺市立男女共同参画センター指定管理者指定申請書(様式1)及び必要書類を添えて、持参してください。

- ア 提出場所

堺市堺区南瓦町3番1号

堺市 市民人権局 男女共同参画推進部 男女共同参画推進課(高層館6階)

電話：072-228-7408 FAX：072-228-8070

- イ 提出方法及び提出期間

令和4年9月22日(木)～9月30日(金)の午前9時から午後5時まで。(ただし、土曜日、日曜日、祝日を除く。)

上記提出場所まで直接持参してください。

なお、提出期限までに必要な書類（Ⅴ 提出書類に関する事項を参照）を提出できなかった場合は、前述のとおり失格として選定の対象から除外します。また、郵送された提出書類や提出期間を経過した後は、受け付けいたしません。

Ⅴ 提出書類に関する事項

1 書類の作成

センターは、前述のとおり男女共同参画の推進に関する施策を実施し、市民等による男女共同参画の推進に関する取組を支援することを目的として設置されている施設です。

また、本市の男女共同参画施策は、「堺市男女平等社会の形成の推進に関する条例」の理念に基づき、女性の活躍を加速させ、根強く残る固定的性別役割分担意識の解消等の課題を改善し、あらゆる施策にジェンダーの視点を持つことを推進しており、センターもその役割を担っています。

令和2年5月に内閣府は、「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」を作成し、あらゆる防災・復興施策に男女共同参画の視点を取り入れることの必要性を示しました。令和2年12月に閣議決定された「第5次男女共同参画基本計画」においても、男女共同参画センターに「男女共同参画の視点からの地域における防災力の推進」拠点施設としての役割が求められています。

指定管理者事業計画書（企画提案書）の作成にあたっては、上記を十分に踏まえた上、提案してください。

2 書類の提出

応募に当たっては、下記の（1）から（31）の書類を提出してください。提出部数は、特に指定のあるものを除き、正1部、副17部（副は複写可）の計18部とします。

なお、提出書類は市の公文書になるため、情報公開請求があった場合は、堺市情報公開条例第7条に規定する非公開部分を除き原則として公開となります。

提出書類の中で、堺市情報公開条例第7条に規定する非公開部分に該当すると考えられる箇所（公開できないもの）については、あらかじめ網掛け等の処理（正本のみ）をした上で、提出してください。ただし、当該箇所について市として公開すべきと判断した部分は請求に応じて公開することがあります。

- （1）堺市立男女共同参画センター指定管理者指定申請書（様式1）・・・グループ応募の場合は、グループとして作成してください。
- （2）団体概要、役員名簿（様式2）
- （3）グループ構成書（様式3）・・・グループ応募の場合に提出してください。
- （4）グループ協定書兼委任状（様式4）・・・グループ応募の場合に提出してください。
- （5）指定管理者事業計画書（企画提案書）（様式5）
 - ・ 管理の基本方針
 - ・ 平等利用・安全の確保
 - ・ 安定的な経営資源
 - ・ 財務規模、組織状況
 - ・ 事業実績
 - ・ 利用者・利用者ニーズの把握
 - ・ 個人情報保護、情報公開の考え方
 - ・ 人権尊重の考え方
 - ・ 障害者等への考え方

- ・広報・モニタリング計画
 - ・休館日、開館時間の考え方
 - ・人員配置、人材育成の考え方、研修計画
 - ・利用料金の考え方
 - ・苦情対応の考え方
 - ・非常時対策
 - ・目標設定、目標達成の方策
 - ・男女共同参画の推進に関する業務の実施計画
 - ・相談事業の実施計画
 - ・男女共同参画の視点からの防災対策や災害対応の推進に関する業務の実施計画
 - ・自主事業の実施計画
 - ・自主事業で自動販売機の設置の提案の有無、提案内容
 - ・経費削減の考え方・方法
 - ・収支計画
 - ・市長が定める要件（障害者等就職困難者の雇用、市内経済の活性化、地域振興、地域コミュニティの醸成、環境問題への取組）
- (6) センターの管理業務に関する収支計画書（様式6－1）、収支計画書積算内訳書（様式6－2）
- (7) 男女共同参画の推進に関する業務実施計画書（様式7－1）
- (8) 男女共同参画の推進に関する業務収支計画書（様式7－2）
- (9) 相談事業実施計画書（様式8－1）
- (10) 相談事業収支計画書（様式8－2）
- (11) 男女共同参画の視点からの防災対策や災害対応の推進に関する業務実施計画書（様式9－1）
- (12) 男女共同参画の視点からの防災対策や災害対応の推進に関する業務収支計画書（様式9－2）
- (13) 自主事業計画書（様式10－1）、自主事業収支計画書（様式10－2）
- (14) 障害者雇用等確認書（様式11）
- (15) 欠格事項に該当しない旨の誓約書（様式12）
- (16) 定款、寄附行為又はこれらに類する書類
- (17) 法人の登記簿謄本又は登記事項証明書
- (18) 堺市立男女共同参画センター指定管理者指定申請書提出日の属する事業年度の事業計画書、収支予算書（法人以外の団体にあつては、これに相当する書類）
- (19) 令和元年度から令和3年度の事業報告書（法人以外の団体にあつては、これに相当する書類）
- (20) 令和元年度から令和3年度の収支計算書又は損益計算書（法人以外の団体にあつては、これに相当する書類）
- (21) 令和元年度から令和3年度の貸借対照表（法人以外の団体にあつては、これに相当する書類）
- (22) 法人の印鑑証明書
- (23) 団体の設立趣旨、活動内容、組織、運営及び事務所の所在等に関する事項の概要がわかる書類（各団体作成の外部向けのパンフレット等でも可とします。）
- (24) 法人税、消費税、地方消費税の納税を証明する書類
 法人の場合 …… 法人の「納税証明書その3の3」（法人税、消費税、地方消費税）
 法人以外の場合 …… 団体の代表者の「納税証明書その3の2」（申告所得税、消費税、地方消費税）
- (25) 市税の納税確認の同意書（様式13）……応募資格の審査のため、関係公簿を調査します

- ので、各団体から1部ずつ提出してください。(複写の提出の必要はありません。)
- (26) 令和4年障害者雇用状況報告書(事業主控の写し)…障害者の雇用の促進等に関する法律第43条第7項に基づく障害者の雇用状況報告義務があり、法定雇用率以上の障害者を雇用している場合に提出してください。
 - (27) 次世代育成支援対策推進法第13条に基づく認定に係る基準適合一般事業主認定通知書の写し…認定を受けている場合に提出してください。
 - (28) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律第9条に基づく認定に係る基準適合一般事業主認定通知書の写し…認定を受けている場合に提出してください。
 - (29) 青少年の雇用の促進等に関する法律第15条に基づく認定に係る基準適合事業主認定通知書の写し…認定を受けている場合に提出してください。
 - (30) 就業規則等の定年に関する制度の状況が確認できる書類…65歳以上への定年の引上げ又は定年の定め廃止を行っている場合に提出してください。
 - (31) ISO14001登録証、エコアクション21認証・登録証、KES登録証又はエコステージ認証書の写し…いずれかに該当する場合に提出してください。

※ (17)、(22)、(24)については提出日において発行から3か月以内のものとしします。

(19)、(20)、(21)については団体の設立から3年以上経過していない場合は、設立年度から令和3年度までのものとしします。

また、グループ応募の場合、(2)及び(14)～(31)については、構成団体ごとに提出願います。

なお、提出書類はA4版を原則としします。A4版以外の規格を使用した場合は、A4版に折り込んでください。

VI 選定及び指定に関する事項

1 選定審査方法

- (1) 指定管理者の候補者は、センター条例第18条第3項に規定する指定の要件を基本として、別紙5の選定基準に基づき、堺市市民人権局指定管理者候補者選定委員会(以下「選定委員会」という。)において、応募書類の審査及び面接審査の総合評価方式により、指定管理者の候補者を選定します。
- (2) すべての応募団体を対象に、書類審査及び面接審査を実施します。上記審査において総合して採点評価を行い、得点が最上位の応募団体を指定管理者の候補者として選定し、得点が次順位の応募団体を次点の候補者として選定します。
面接審査の日程等は、後日お知らせします。
- (3) 採点において同点になった場合は、選定委員会の定める取扱いにより、審議のうえ指定管理者の候補者を決定します。
- (4) 選定後から基本協定の締結までの間に指定管理者の候補者が辞退した場合のほか、失格となった場合や指定が取り消された場合は、次点の候補者を指定管理者の候補者としします。

2 選定結果の通知等

選定委員会における審査結果を受けて市として指定管理者の候補者を決定し、審査結果を応募された団体(グループによる応募の場合は、グループの代表団体)すべてに、令和4年10月下旬を目途に、文書で通知します。また、選定・不選定を問わず団体名及び採点については審査結果として、市ホームページ等で公表を行います。

3 指定管理者の指定等

指定管理者の候補者の決定後に、市議会（令和4年11月を予定）に指定管理者の指定の議案を提出し、議決を経て指定管理者の指定を行い、その旨を公告します。

なお、議会の議決が得られなかった場合においても、候補者が本件に支出した費用について、市は補償しません。

4 協定に関する事項

指定管理者の指定を受けた団体は、市との協議を行ったうえで、堺市立男女共同参画センターの管理業務に関する協定を締結していただきます。協定には指定期間内における基本的な事項について定める「基本協定」と、年度ごとに変更が予定される事項について定める「年度協定」があります。基本協定の内容（予定）は別紙6のとおり、年度協定の内容（予定）は別紙7のとおりです。なお、協定書の解釈について疑義が生じた場合又は協定に定めのない事項が生じた場合は、市と指定管理者は誠意を持って協議するものとします。

Ⅶ その他

1 注意事項

- (1) 応募に関して必要となる一切の費用は、応募団体の負担とします。
- (2) 提出された書類の内容を変更することはできません。ただし、市から補正を求めた場合を除きます。
- (3) 応募1団体につき、提案は1件のみとします。
- (4) 応募書類は理由のいかんを問わず返却しません。
- (5) 応募書類は市の公文書として取り扱われます（原則として情報公開の対象となります。）。
- (6) 市が必要と認める場合は、追加して書類の提出を求めることがあります。
- (7) 団体の提出する書類の著作権はそれぞれの作成団体に帰属します。なお、本件において公表する場合は、本市は団体の提出書類の全部または一部を無償使用できるものとします。
- (8) 応募書類は欠格事項の該当の有無を確認するため、照会に使用することがあります。
- (9) 書類提出後に応募を辞退する場合は、辞退届（様式は任意）を提出してください。
- (10) センターの管理業務に当たり、指定管理者が事業所税等の納税義務を負う場合があります。

2 添付資料

- (1) 指定管理者選定関係
 - (別紙1) 業務仕様書
 - (別紙2) リスク分担表
 - (別紙3) 堺市立男女共同参画センター 施設・設備保守委託可能業務一覧
 - (別紙4) 堺市立男女共同参画センター 施設内容・図面
 - (別紙5) 堺市立男女共同参画センター 指定管理者選定基準
 - (別紙6) 基本協定書（案）（基本協定書別添（1）、様式1～7を含む）
 - (別紙7) 年度協定書（案）
 - (別紙8) 男女共同参画の推進に関する講座等企画運営業務仕様書
 - (別紙9) 相談業務仕様書
- (様式1) 堺市立男女共同参画センター指定管理者指定申請書
- (様式2) 団体概要及び役員名簿
- (様式3) グループ構成書

- (様式4) グループ協定書兼委任状
- (様式5) 指定管理者事業計画書(企画提案書)
- (様式6-1) センターの管理業務に関する収支計画書
- (様式6-2) センターの管理業務に関する収支計画書積算内訳書
- (様式7-1) 男女共同参画の推進に関する業務実施計画書
- (様式7-2) 男女共同参画の推進に関する業務収支計画書
- (様式8-1) 相談事業実施計画書
- (様式8-2) 相談事業収支計画書
- (様式9-1) 男女共同参画の視点からの防災対策や災害対応の推進に関する業務実施計画書
- (様式9-2) 男女共同参画の視点からの防災対策や災害対応の推進に関する業務収支計画書
- (様式10-1) 自主事業計画書
- (様式10-2) 自主事業収支計画書
- (様式11) 障害者雇用等確認書
- (様式12) 誓約書
- (様式13) 市税の納税確認の同意書
- (様式14) 現地説明会参加申込書
- (様式15) 質問書

(2) 堺市立男女共同参画センター指定管理者候補者選定に係る参考資料一覧

- (資料1) 個人情報取扱特記事項
- (資料2) 堺市指定管理者の個人情報の保護に関する要綱
- (資料3) 堺市立男女共同参画センター個人情報保護規程(モデル規程)
- (資料4) 堺市指定管理者の情報公開の推進に関する要綱
- (資料5) 堺市立男女共同参画センター情報公開規程(モデル規程)
- (資料6) 堺市立男女共同参画センター利用実績
- (資料7) 堺市立男女共同参画センター収支決算実績
- (資料8) 堺市立男女共同参画センター修繕・工事实績
- (資料9) 堺市立男女共同参画センター光熱水費